



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

取付上のお願ひ

- 本部件の取付けは型材(召外框・召内框)への加工が必要となります。加工は障子の組立て前に行ってください。障子組立て後では部品が取付けられなくなります。
- 外締り錠の取付位置が内外方向にズレた状態で取付けられた場合、錠本体が網戸やガラスと干渉する可能性がありますので、加工寸法の確認を行ってください。

■対応商品

- アトモスⅡ SG ●セレクトサッシ SG

■部品・部材の明細

<p>㊦錠本体</p> <p>1個</p>	<p>㊧錠本体取付けブラケット</p> <p>1個</p>
<p>㊨ストライク(受け)</p> <p>1個</p>	<p>㊩鍵</p> <p>3個</p>
<p>㊪座金付ねじM4×8</p> <p>2本</p>	<p>㊫皿小ねじM4×12 (D7)</p> <p>4本</p>
<p>㊬平小ねじM4×6</p> <p>2本</p>	<p>㊭取付け説明書</p> <p>1枚</p>

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	外締り錠の取付加工位置は、寸法通りになっているか確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
2	㊩鍵を㊦錠本体に差しして施錠ができるか確認しましたか？	<input type="checkbox"/>

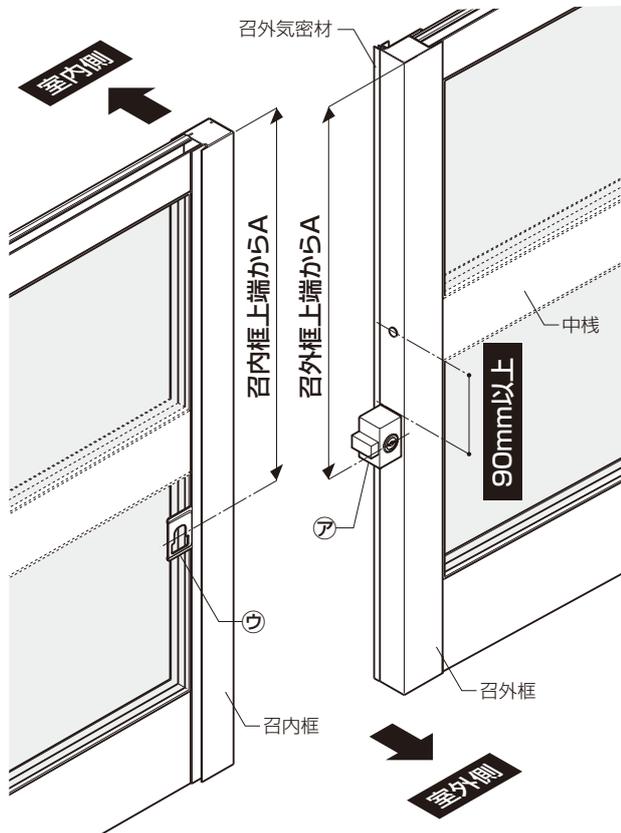
■用意する工具

<p>メジャー(コンベックス)</p>	<p>かね尺・直尺</p>
<p>クイ切り(ニッパー)</p>	<p>ドリル(φ4.5、φ5)</p>
<p>ヤスリ(平ヤスリ、丸ヤスリ)</p>	

1 取付位置の決め方

※下図は完成品の状態で示していますが、実際の位置決めは、障子の組立て前に行ってください。

- 下図のように框上端からA寸法の位置が、召外框・召内框とも同じになるように位置を決めてください。
- 中棧付きの場合は、中棧取付け穴から±90mm以上離してください。



2 召外框・召内框の取付け穴加工

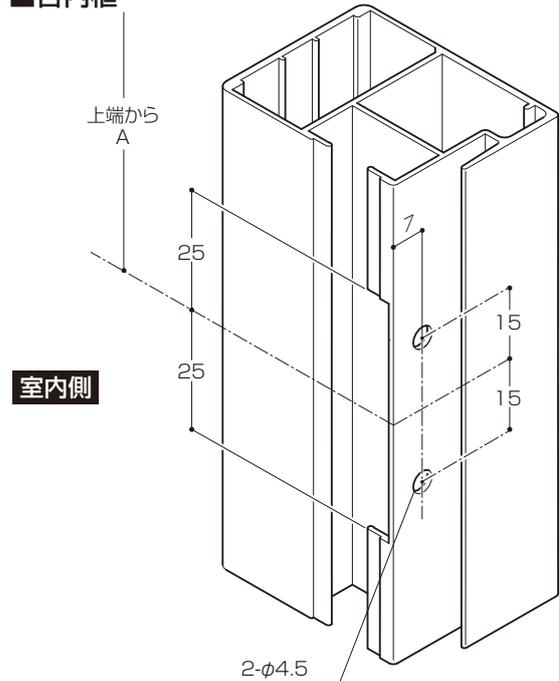
- 下図を参考に、召外框・召内框に取付け穴加工(現場加工)をしてください。

お願い

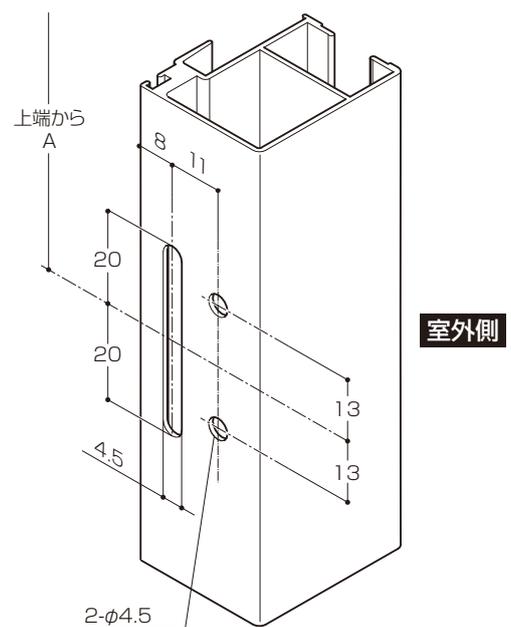
- 外締り錠の取付位置が内外方向にズれた状態で取付けられた場合、錠本体が網戸やガラスと干渉する可能性がありますので、加工寸法の確認を行ってください。

【アトモスII障子の場合】

■召内框

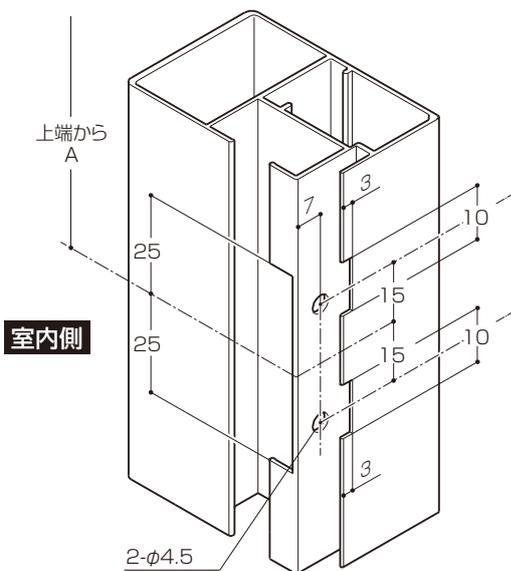


■召外框

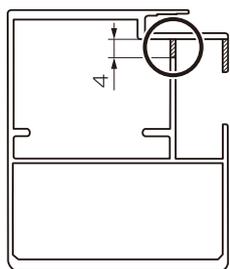


【セレクトサッシ障子の場合】

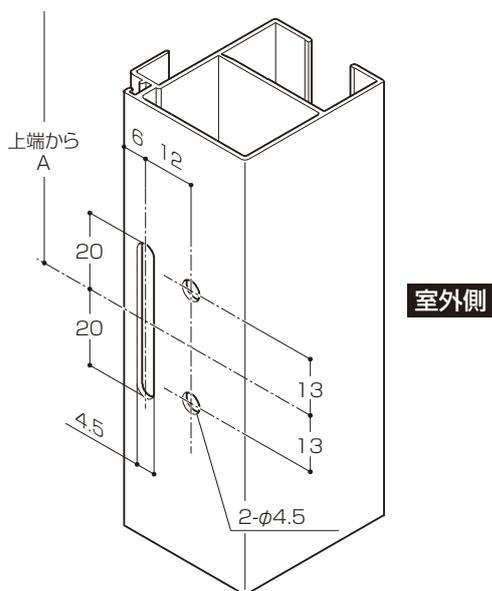
■召内框



- H20サイズ以上に取付ける場合は、形材形状が違う為○印部の加工も実施してください。
(加工する長さはガラス開口側と同じ50mm)



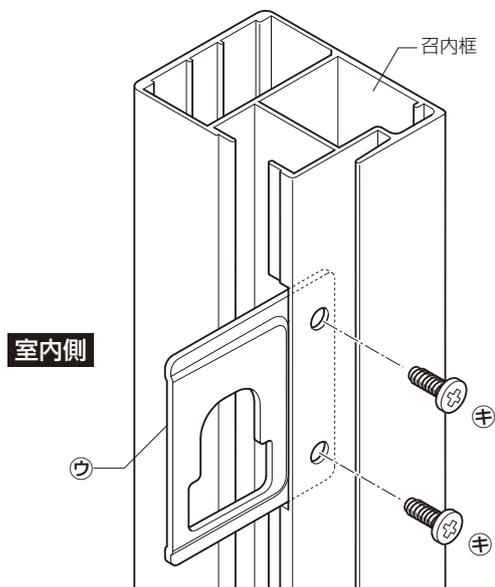
■召外框



3 部品の取付け

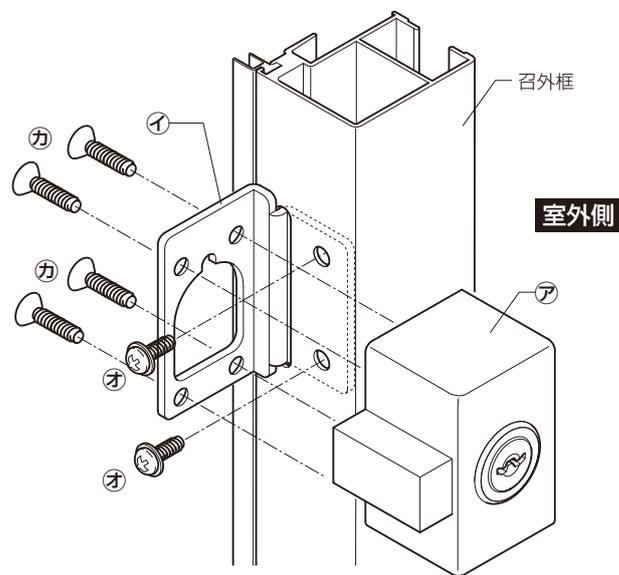
■召内框

- 召内框の加工位置に㊸ストライク(受け)を㊹ねじで取付けてください。



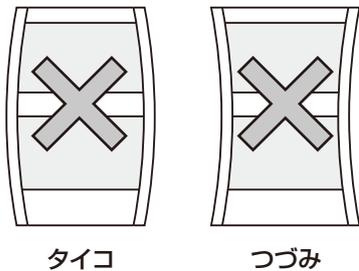
■召外框

- ①召外框の加工位置に㊺錠本体取付けブラケットを㊻ねじで取付けてください。
- ②㊻錠本体を㊼ねじで錠本体取付けブラケットに固定します。



4 障子の組立て・建込み

- 障子の組立て・建込みを行います。
- ※ 障子の組立ては、障子の組立て説明書を参照してください。
- ※ 左右方向・室内外側方向の調整は不要ですが、組立て時に障子がつづみやタイコにならないように組立ててください。



5 障子の建付け調整

- 障子の建付け調整を行います。

6 錠の位置合わせ

- ※ ㊦錠を㊧錠本体に差しして施錠ができるか確認してください。
- ※ 上下方向に位置が合わない場合は、召外框から㊧錠本体と㊨錠本体取付けブラケットをいったん取外して、取付け加工穴(長穴・ $\phi 4.5$ 穴)をヤスリで削って広げ、部品の取付け位置をズラしてください。
- ※ 左右方向に位置が合わない場合は、召内框から㊩ストライク(受け)をいったん取外して、取付け加工穴($\phi 4.5$ 穴)をヤスリで削って広げ、部品の取付け位置をズラしてください。

